

モンゴル通信	No. 2	2023年度3次隊 北澤 啓二
--------	-------	-----------------

Сайн байцганаа уу？

(皆さん こんにちは ？)

太字のところだけ読んでも何となく理解できますよ

3月22日(金)首都ウランバートルから私の任地となるバガノールに移動してきました。そしてはや一ヶ月が経ちました。バガノールは一応ウランバートル市で、**飛地**なんです。

ウランバートルのような**大気汚染**はなく、そして一番は夜になると真っ暗で**星がきれいに見える**・・・と想像していたのですが、私の住むアパートはこの街の中心にあり、深夜までメイン道路のライトが点灯し、もう片方の方角には公園があるのですが、これも深夜0時頃までライトが付いていますので、外が明るすぎて**お星さまは期待外れ**でした。

それでも、**東西方向には10分と歩けば大草原**になりますが、やっぱり街の灯りがあるので、本当に星空の鑑賞は残念です。

日本はGWも過ぎ、日中は30度を超す日もあるように聞きますが、ここバガノールは、日中は10℃ぐらいまで暖かくなりますが、**朝はまだ氷点下**です。しかし、私の住居も学校も暖房システムがあるので、部屋の中はとても暖かいです。この暖房システム、(ウランバートルもそうですが)火力発電所の余った熱を利用して温水パイプで部屋を暖めるシステムです。この間、光熱費の請求が来ましたが、この暖房に電気代の2倍の金額がかかっていました。

中心街に住む私のところは、住居設備がほぼ完璧ですが、ちょっと離れると、電気は通っていますが、水道のインフラは勿論、先ほど述べました暖房のインフラも整っていません。これに関しては、首都ウランバートルも同じで、中心部をちょっと離れる地域になると、水は20リットルの大型タンクを使って共同水道に汲みに行ってます(有料です)し、暖房は石炭を使っています。この**石炭によるストーブの排気**が首都ウランバートルの大気汚染の主な原因だそうです。



この学校は2階建て

学校の話をします。バガノールには小1～高3(モンゴルでは12年生)までの学校が3つあります。

学校の数が絶対的に足りていないので、午前と午後で、同じ校舎を使って児童・生徒たちが登校しています。3～5年生と9～12年生が午前で、授業は**8時から**始まります。授業時間は40分で、授業休憩は5分、7時間授業で13：15に午前の部は終わります。

午後は13：30から、6年生～8年生と1年生～2年生が登校し、6～8年生は7時間授業で18：45に授業が終わります。1～2年生は35分授業の5時間授業で16：30に終わります。

学校の構内には、10時から営業している食堂があり、児童生徒たちは、休憩時間のみならず、気楽に利用しています。休憩時間内に食べ終わらなかつたりするので、そのまま授業のクラス内で食べている子もいます。

トイレも休憩時間内では難しいので、授業内にトイレに行く生徒もいます。この時、いちいち授業担当の先生に断らずに教室を退出しています。

高学年になると、ほとんどの生徒がスマートフォンを持っており、授業内で利用しています。スマートフォンをまとめて預かっているクラスもありますが、そうでないクラスもあり、この辺も日本では考えられないです。

最後に、日本で2か月間(訓練所にて)、モンゴルに来てから1か月間、モンゴル語を勉強してきましたが、現地人との会話はかなり苦労しています。そこでスマートフォンの**翻訳機能**という便利ものを使ってしまうのですが、この便利機能を使うがゆえに、語学の上達が向上していません。これについては自分が頑張るしかないんですけどね。

では、皆さん、

今回はこの辺で、次号を期待してください。

北澤でした。



バガノール近郊の山へ



挨拶運動